

春季体育
文化大会

士2が総合2連覇



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
村岡 良祐
(工業化学科2年)

1年生 総合優勝は情報

「勝ったときの達成感が最高」

春季体育文化大会が3月19日と21日に行なわれた。競技内容はバドミントン、バレーボール、卓球、大富豪、UNO、大乱闘スマッシュブラザーズ(スマブラ)の6種目で学年ごとに学科で競った。総合優勝は2年生が土木科で2連覇した。1年生は情報技術科が優勝した。各種目の優勝クラスの感想を紹介する。



卓球で2位に入った2年電子機械科チーム

大会結果

総合

2年①土木②建築③電気
1年①情報②建築③機械

バドミントン

2年①建築②土木・電気
1年①機械②建築③土木

バレーボール

2年①建築・機械③工化
1年①工化②情報
③建築・機械

卓球

2年①電気②機械③土木
1年①情報②建築③機械

大富豪

2年①土木②建築③機械
1年①土木②情報・機械

UNO

2年①建築・土木・情報
1年①電気②土木
③工化・建築・情報

スマブラ

2年①土木②工化・電気
1年①建築②工化・情報

バドミントンで優勝した神山聖良君(機1)は「今まで

の行事では中途半端な順位しか取れなかったのが優勝できてうれしい。良かったところはシャトルを打つ速度を変えられたところで、反省点はサーブミスが多かった点。来年もバドミントンに出場して優勝したい」と語った。

バレーボールで優勝した白水心君(機2)は「試合に勝利した瞬間の達成感が最高だった。クラス皆で一つの目標に向かって戦い、喜びを分かち合えた経験は良い思い出になった。緊張や焦りからサーブミスやレシーブミスをした。試合の流れをつかむために安定したプレーをするのが大切だと思った」と語った。

卓球で優勝した小林蓮君(電2)は「卓球は得意では

★旭工 ライフ

素早く正確に対応

放送局 音響担当

川上大地君(情1)



音楽鑑賞が趣味

新年度の新生歓迎会に向けて紹介動画を制作している。2年生13人、1年生4人の計17人で活動をしている。普段はNHKのコンクールや高文連に向けた作品制作、学校行事などで音響を担当している。校外活動では旭川市で9月末に行

われた音楽フェスで司会と会場撮影を担当した。達成感があるのは学校行事などの後にお礼の言葉をもらったとき。大変なのは3年生が卒業し、2年生も知らないことがあるとき。一番詳しい先輩からうまく引き継げなかったと痛感している。新入生が入部したら仕事を教えながら自分の仕事にも全力で取り組むたい。また、今年の工高祭では機材やケーブルが壊れて対応が遅くなったので、次年度は何事にも素早く正確に対応していきたい。



1年生の電気科(左)と電子機械科のUNO対決

なかったが、仲間にサーブを教えてもらい、ダブルスで勝つことができた。土木科との試合では、ラリーが長く続いてとても白熱した。特に、サーブとスマッシュが決まったときが楽しめた。サーブやスマッ

シユの精度を上げればもっとよくプレーできた。また、ダブルスでは相手の田中晴君との連携をしっかりと取れたのでスムーズに試合が進んだ。初めは緊張したが、慣れるとかなり楽しめた」と語った。

大富豪で優勝した加藤聖人君(土2)は「体育系の種目で負けていたので、文化系の種目で優勝できてうれしい。昨年の大会の後からアプリを使って練習した。うまく連携できて良かった。エキシビジョンマッチで勝てなかったのが悔しい」と語った。

UNOで優勝した上中居凛

上口護 生徒会長

来年に向けて改善を 連携をしっかりと

上口護生徒会長(情2)に大会の感想と改善点を聞いた。大会中の各競技の見回りや



笑顔が素敵な上口会長

大会結果のパソコン入力が大変だった。昨年は各競技の開始時間が違ったが、今年は統一したので、試合進行がスムーズに行なえた。大富豪とUNOのルールが分かりにくかった点とエキシビジョンマッチのクラスの決定法を決めておく点を改善したい。今回の反省を生かし、来年は生徒会役員と体育委員との連携をしっかりと良い大会にしてほしい。



工具箱

2面で防災特集を組んだ。私は7年前の胆振東部地震が印象に残っている。停電で慌ててやるが多かった。隣の祖父の家から発電機を借りてきて夜を過ごした。1日半でライフラインは復旧し、無事だったものの家電製品が停止し、冷凍庫内の食品が傷んでしまった。直接的な被害に遭ったわけではないが地震が遠い地域に影響を及ぼして他人事ではないと感じた。▼東日本大震災から14年がたった。テレビで見た津波が襲ってくる映像は今でも忘れられない。当時私は2歳で、弟と両親の4人で江別市に住んでいた。地震発生の記憶は残っていないが、母から驚く話を教えられた。その日は仕事に出かけていて家には母と私と弟の3人だった。震度4の地震がきたとき、3人で昼寝をしていた。地震だと分かっていた母はパニックになり、弟を抱えて避難しようとした。寝ていた私に気づかず家を出ようとした。しかし、ちょうど地震が収まり避難に至らなかったという。なぜ自分の存在が忘れられたのか。きっと仕方なかったのだろう。災害は一瞬で人々をパニックにするから▼今は弟が中学生なので、家族全員でいろいろと考えた行動ができる。災害が起きた場合に備えて祖父母と避難方法について話をしている。皆さんも避難方法や非常食について話してみたいかがだろうか。また旭川市は河川の氾濫による水害が多いので対策は必要だ。(電1稲留)

日頃から災害時の準備を 防災バック13%が用意

防災特集

1年生アンケート

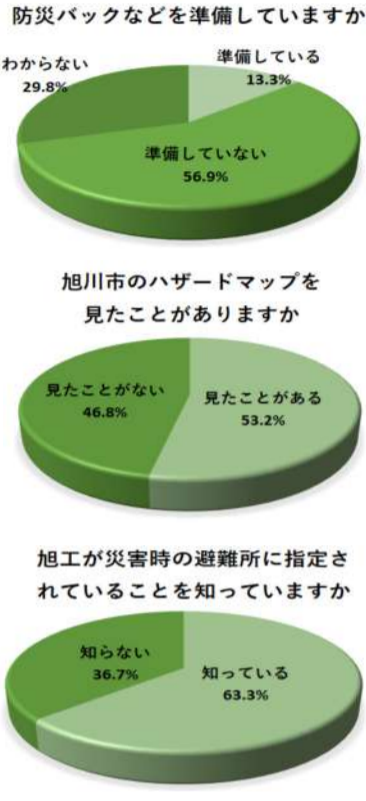
旭工が避難所 63%が認識 連絡手段最多はSNS

3月11日で東日本大震災から14年となった。岩手県大船渡市では2月末から山火事で多くの避難者が出た。地震が少ない旭川でも山火事などは起こる可能性がある。新聞局では1年生を対象に「防災アンケート」を3月12日に実施した。欠席者を除く192人中188人の回答があり、回答率は97.9%だった。

1年生188人の中で、家に防災バックを「準備している」と答えたのは25人で13.3%、「準備していない」と答えたのは107人で56.9%、「わからない」が56人で29.8%だった。

何を準備しているかという質問に対し複数回答可で、飲料水が21人、食料が23人、簡易トイレが6人、寝袋が5人、カイロなどが12人、スリッパが4人、カセットコンロが4人、ラジオが9人、モバイルバッテリーが11人、懐中電灯

が20人、その他が1人だった。家族との連絡手段を「決めている」と答えたのは57人で30.3%、「決めていない」と答えたのは131人で69.7%だった。連絡手段は何かという質問に対し、携帯電話が35人、LINEなどのSNSが44人、災害用伝言板が4人、災害用伝言ダイヤルが0人、公衆電話が3人だった。



家庭に水と食料を備蓄

スマホ不通なら公衆電話を

旭工が災害時の避難所だと「知っている」と答えたのは119人で63.3%、「知らない」と答えたのは69人で36.7%だった。

その他の防災対策では「タンスの周りで寝ない」「玄関の入り口に物を置かない」

1年生に防災の取材をした。稲場優太君(化1)は「いつ何が起るかわからないので備えておいて損はないと思う。普通の人は災害にあったらパニックになると思うが自分は落ち着いて避難できるようにしたい。タンスを固定したり、水と食料を備蓄して対策をしている」と話した。



避難者用シャワー室も 非常食は教職員分のみ

旭工が避難所として指定されていることを知っていた。避難所としてどのような施設があるのか、事務の山崎翔さんに案内してもらった。体育館の右奥には避難者用のシャワー室がある。非常食は教職員分のみ。旭工にある非常食は避難所として対応に当たる教職員約50人の3日分。ペットボトルの水、乾パン、クッキー、クラッカーを保管しており、5年ごとに交換しているという。

家庭での備え

旭川市発行の「暮らしの便利帳」には災害時の家庭内備蓄品が載っている。最低3日分から1週間分の食料ではカップ麺、乾パン、レトルト食品、乾パン、缶詰、ビスケット、チヨコレート、ミルクなど。飲料水は1人1日3リットル。生活必需品ではトイレレットペーパー、ティッシュペーパー、ランタン、卓上コンロ、暖房類、薬、ラジオ、モバイルバッテリー(乾電池)、消毒用アルコール、マスクなど。

避難所ではスリッパが必要

冬の避難 カイロや毛布を持参

旭川市防災安全部防災課の職員に防災対策について取材をした。旭川市は洪水ハザードマップだけでなく、土砂災害ハザードマップもHPに掲載している。自分たちが住んでいる地域が安全かどうか確認しておく必要がある。避難所へ行く必要はある。避難所への経路は最短距離のほかに、道路が通れなくなる可能性を考慮して迂回路や他の避難所への経路を調べておくことが良い。学校の体育館が避難所になることが多く、床が冷たい

伝言ダイヤルの利用も

皆さんは防災についてのどのくらい意識して過ごしているだろうか。昨年1月1日には能登半島地震が起き、今年2月末には岩手県大船渡市で大規模な山林火災が起き、どちらも多くの避難者が出た。山林火災は昨年5月に留萌市でも起きており、0.3ヘクターを焼失している。新聞局で行なったアンケートでは、家庭で防災バックを準備している人が13.3%いた。家族との連絡手段を決めている人は30.3%。その手段はスマートフォンがほとんどだった。携帯電話の基地局(アンテナ)が使えるなくなったらスマートフォンでは連絡ができない。電話線が切れなければ公衆電話が利用できる。公衆電話の場所を把握し、10円玉を

旭川は地震の被害が少ないが、水害や山火事が起こる可能性がある。避難が必要かもしれない。災害に備えて必要な物資を確認し、用意しよう。3日間生活できる分の食料や飲料水、生活用品などを用意しておく必要がある。旭川は地震の被害が少ないが、水害や山火事が起こる可能性がある。避難が必要かもしれない。災害に備えて必要な物資を確認し、用意しよう。

日頃から1週間分を想定し、冷蔵庫の食料や日常食を活用しながら食料を備え、定期的に食べて、食べたいものを買い足しながら備蓄していく方法もある。避難する場合の持ち出し品として、現金や通帳などの貴重品や非常食、飲料水、けがをしたときに使う医薬品と常備薬、衣類、タオル、衛生用品、懐中電灯、ラジオ、電池、その他に赤ちゃんやペットのいる家庭では乳児用ミルクやペット用品など。